

日本英語学会第32回大会
ワークショッププログラム
2014年11月8日(土) 9時30分から11時45分まで
学習院大学

(ワークショップ)

第1室 「ラベルについて」

(南1号館2階 201 教室)

責任者：後藤 亘 (東洋大学)

司会者：後藤 亘 (東洋大学)

発表者：後藤 亘 (東洋大学)

“On the Necessity of Labeling in Narrow Syntax”

発表者：成田広樹 (日本大学)

“Symmetric Syntax, Asymmetric Linearization”

発表者：小畑美貴 (東京理科大学)

“Labeled vs. Unlabeled Syntactic Objects”

第2室 「英語の史的統語変化とその中核：生成文法理論の視点から」

(南1号館2階 202 教室)

責任者：山村崇斗 (筑波大学)

司会者：山村崇斗 (筑波大学)

発表者：本多尚子 (名古屋大学博士研究員)

「他動詞虚辞構文の通時的発達 —パラメーター変化の観点から」

発表者：宋 蔚 (愛知淑徳大学)

“A Feature-Based Analysis of Paratactic Negation in the History of English”

発表者：松元洋介 (中京大学)

「英語史における *pP* フェイズの発達 —前置詞残留を中心に」

発表者：山村崇斗 (筑波大学)

「英語疑似空所化の史的統語変化」

第3室 “Case and Agreement Revisited: Why do Unvalued Features Exist?”

(南1号館3階 301 教室)

責任者：北原久嗣 (慶應義塾大学)

司会者：北原久嗣 (慶應義塾大学)

発表者：北原久嗣 (慶應義塾大学)

「値を欠く素性の役割について」

発表者：野村昌司 (中京大学)

「値を欠く素性とフェイズ領域」

発表者：小林ゆきの (筑波技術大学)

「形態格とフェイズ理論」

第4室 “Clauses on the Move: A Historical-Contrastive Approach to English and German”

(南1号館3階 302 教室)

責任者：柴崎礼士郎 (明治大学)

司会者：柴崎礼士郎 (明治大学)

発表者：柴崎礼士郎 (明治大学)

“The Discourse-Based Development of Shell Noun Constructions in English: The Case of *The Problem is (that) and That’s the Problem*”

発表者：大塚 瞳 (ブレーメン大学大学院)

“Discourse Functions of Shell Noun Constructions in German: With a Focus on *Das Problem ist, (dass) and Das ist das Problem*”

発表者：東泉裕子 (東京学芸大学 (非常勤))

“The Diachrony of Insubordinate *Because*-Clauses and Their Discourse Functions”

発表者：NYKIEL, Jerzy (サイレジア大学, ポーランド)

“The Diachrony of *So That* and the CP Cycle”

第5室 “On the Phasehood of CP and Other Projections”

(南1号館3階 304教室)

責任者：安井美代子 (獨協大学)

司会者：安井美代子 (獨協大学)

発表者：安井美代子 (獨協大学)

“Internal Head Merger and Upward Feature Sharing”

発表者：長南一豪 (Universitas Darma Persada) “Quotative Inversion in Indonesian and English”

発表者：水口 学 (獨協医科大学)

“Phases, Labeling and Wh-Movement of the Subject”

発表者：Željko Bošković (University of Connecticut)

“On Extraction from Clausal and Other Complements
Functioning as Phases”

(スチューデント・ワークショップ)

第6室 「相互行為における日英語比較研究：言語実践の分析を中心に」 (南1号館3階 306教室)

責任者：小澤 雅 (日本女子大学大学院)

司会者：藤井洋子 (日本女子大学)

発表者：阿部あかり (日本女子大学大学院)

「タスクにおける日英語の不同意表現の仕方」

発表者：鹿野浩子 (日本女子大学大学院)

「日英語における直示用法の指示詞表現：身体の動きから見られる認識の違い」

発表者：小澤 雅 (日本女子大学大学院)

「日英語会話における指示表現の選択とコンテキスト共有」

発表者：春名弥郁 (青山学院大学大学院)

「日英語会話開始部分における相互行為の開始と会話進行」

* ハンドアウトは各企画責任者が発表会場に用意します。部数には限りがありますので予め御了承下さい。

* 各ワークショップ会場の詳細につきましては、「大会資料・プログラム」をご覧ください。